Yokohama South Japan

2023-24年度　国際ロータリー会長　ゴードン R. マッキナリー

WEEKLY BULLETIN

横浜南ロータリークラブ(D-2590)

例会日　毎週土曜日12:30～13:30
例会場　ローズホテル横浜　TEL.681-3311
事務所　横浜市南区宮元町1-14
サンワビル203　TEL.309-7962

RI第2590地区ガバナー：樋口　明

会　　長：鳥山　直樹
会長エレクト：青柳　隆之　　幹　　事：小野　哲
副　会　長：川﨑　智晴　　クラブ会報委員長：齋藤　久夫

世界に希望を生み出そう

第２９１４回（第１０回）例会

2023年9月30日（土）会場 ローズホテル2階夜間例会

1．点　　鐘	鳥山　直樹会　長
2．合　　唱	合唱委員会
3．ゲストの紹介	鳥山　直樹会　長
4．ビジターの紹介	親睦活動委員会
5．スマイルの発表	親睦活動委員会
6．出席報告	出席委員会
7．会長報告	鳥山　直樹会　長
8．幹事報告	小野　哲幹　事
9．卓　　話	

夜間例会　　米山奨学生　蔡宜真様　終了式
藤塚雄大会員　新会員歓迎会
点鐘18：00

◆次回（2023年10月14日（土））例会予告◆

会場1階

徳川慶喜と兵庫開港問題　幕末政局の転換点
司法書士　松原　隆文　様

《合唱歌詞》

いい日旅立ち

雪解け間近の
北の空に向い
過ぎ去りし日々の
夢を叫ぶ時
帰らぬ人達
熱い胸をよぎる
せめて今日から一人きり
旅に出る
ああ日本のどこかに
私を待ってる人がいる
いい日旅立ち
夕焼けをさがしに
母の背中で聞いた
歌を道連れに

次回合唱曲　「我等の生業」

前回2913回例会記録

令和５年９月９日（土）

点　鐘：鳥山　直樹　会　長
合　唱：「浜辺の歌」

会員数	44（36）名	本日出席率	89.74％
本日出席数	35（32）名 (内オンライン０名)	8／26分修正出席率	78.38％

ゲスト：勅使川原　洋子様（特定非営利活動法人群馬リカバリーねっと　理事長）
北井　一也　様（株式会社ひのきリライアンス代表取締役社長兼最高経営責任者）
藤井　邦一　様（株式会社プロット株式会社ライフ・ドゥ　代表取締役）
蔡　宜真　様（米山奨学生）

◎今週メークアップへ行った会員
9／4　地区クラブ米山奨学生委員長会議（蒲・角井各会員）
9／6　東京ロータリークラブ（岸会員）

≪会長報告≫　　鳥山　直樹　会長

1．9月3日（日）開催のゆかたミーティングには、多数のご出席をいただきまして、ありがとうございました。また、福本親睦活動委員長はじめ、関係各位の皆様ありがとうございました。
2．本日例会前11：30より、クラブ規定委員会が開催されました。ご出席いただきました委員の皆様ありがとうございました。
3．9月4日（月）、クラブ米山記念奨学委員長会議が開催されました。蒲米山記念奨学委員長にご出席いただきました。また、角井地区米山奨学金増進委員に

はリモートにてご出席いただきました。ありがとうございました。

4．ロータリー米山記念奨学会より、第51回メジャードナーとして蒲会員に記念の盾が届いておりますのでお渡しいたします。ご協力ありがとうございました。私も第14回メジャードナーとして感謝状と記念のバッチをいただきました。

≪幹事報告≫

小野　哲　幹事

1．本日の例会後、第3回理事会を開催いたします。ご出席いただきます理事、役員の皆様宜しくお願いいたします。

2．次週9月16日と23日は休会となります。次回例会は9月30日夜間例会となり、米山奨学生　蔡宜真様終了式、藤塚雄大会員の新会員歓迎会を予定しております。お間違えの無いようお願いいたします。

3．今月9月の財団レートは、1ドル　　円になります。

4．他クラブから例会変更の案内がきております。会報に掲載いたしましたので、ご確認をお願いいたします。

≪委員会報告≫

・ロータリー財団委員会　　蒲　隆夫　委員長

宍戸留美会員よりご寄付頂きました。

・米山記念奨学委員会　　蒲　隆夫　委員長

宍戸留美会員よりご寄付頂きました。

≪卓話≫

特定非営利活動法人群馬リカバリーねっとの現状と課題

特定非営利活動法人群馬リカバリーねっと

理事長　勅使川原　洋子　様

■こころの病気への思い

群馬県の保健師として38年勤務いたしました。勤務した昭和50年代半ばは、保健所は、地域に住む精神疾患の方たちの地域生活を支援することが大きな業務でした。この頃は、病気に対する偏見も大きく、こころの病気の配偶者や子供を持つ家族は、必死に病気を隠していることが多くみられました。そのため病気の当事者は自由な外出もなく、唯一の外出は受診だけ、ほとんどの時間を家の中で過ごす閉じこもりの状態となっていました。仕事は出来なくても、せめて昼間出掛ける場所として、保健所のデイケアへの参加を勧めたり、治療を中断しないよう保健指導するために必死に家庭訪問を行っていました。家庭訪問の車は、近所の人に見られないように、遠くに止めていくのが普通のことだった時代でした。長くこころの病気の人達を支援する中、『病気になって辛くて苦しいのに、更に隠れて暮らす辛さ』こんな酷い事は何とかしたいという思いをずっと持っていました。

平成になり、全国的に精神障害者家族会が組織されてきていたので、家族を説得して家族会を組織し、精神疾患を抱える誰もが通える作業所を家族会と一緒につくりました。

平成4年には家族会を特定非営利活動法人にし、その施設は、今も地域で大切な資源となっています。

■玉村町にも、通所する場所を

家族の強い思いを聞き、2014（平成26）年4月から通所施設を開設しました。

県職員だったので、無給の地域貢献の仕事として活動し、その年の9月には、県の許認可を受け、正式に“就労継続支援B型”施設としてスタートしました。

■３つの障害者

障害者は、大きく分けて知的障害者、身体障害者、精神障害者がいます。

精神障害者は、他の2つの障害者と大きく違うところは、患者であり服薬を必要とし、服薬の中断は病状を悪化させることになります。

触法精神障害者（重大犯罪を犯した精神障害者）業務に関わる中、警察官からの通報となるケースは、治療中断による悪化が多くみられました。殺人を犯した人でも、適正な治療と支援で普通に生活できるまでに回復していきます。そのためには医療提供と共に、地域生活を支える家族が必要ですが、家族がいない場合は、家族に代わる施設やスタッフが大切な役割を担うことになります。

病状の悪化への対応は、病気の知識や障害者への支援経験がある職員であれば、早期に気が付き、病状の波や悪化への対応を適切に行えるものだと考えていました。

施設のスタッフとして、医療の知識がある群馬県立精神医療センターで長く精神障害者の社会復帰を手掛けてきた看護職を施設長に向かえ、地域で少ない精神障害者を専門とする通所施設を開設しました。

※利用者の疾患：統合失調症、うつ病、発達障害、高次脳機能障害

■新しい建物へ

古い一戸建ての隙間風が通り抜ける建物から、利用者

が気持ちよく過ごせるようにと施設を新築しました。明るく、景色のよい環境で、特に北側は、遠くにすそ野の長い赤城山が見え、春には広い道路沿いにカワズザクラが咲き誇ります。

通所施設ではありますが、カフェを併設し、おしゃれで楽しく通える施設を目標にしましたが、カフェのスタッフを雇用することができず、景色のよい作業スペースとなってしまいました。日々の生活の愉しみとして、食事会、花見、イチゴ狩り、ボーリング、バトミントン、ゲーム　など　さまざまなイベントを行っています。コロナの蔓延で中断していましたが、今年度から再開しています。また、コロナの蔓延中は、手洗いや消毒を徹底し感染を抑えることができました。

■通所することの目標と効果

大きな目標は、就労ですが、仕事に就くためには、朝起き、挨拶して、昼間起きて何らかの作業をすることが必要です。ここに来る多くの人は、当初は昼夜逆転となっているため、遅れても朝起きてくることを最初の目標にしています。

朝のスタート時間や作業時間は、利用者の生活状況や病状により変わりますが、日々の積み重ねにより、生活リズムが獲得ができ、昼間の作業ができるようになっていきます。これまで就職した施設利用者は、10 人です。病気のことを公表しないで一般就労した利用者もいますが、障害者枠の仕事にするかどうかは、本人の判断に任せています。

施設では、就職に向けて、面接練習や履歴書の書き方なども指導しています。

40 代 50 代になると就労を希望しない利用者もおり、１か月 6,000 円～ 20,000 円の収入では、障害年金をもらっても、生活保護になります。ここでの作業が、仕事場に準じたように働ける場所で、収入を増やすことが必要と考えていますが、５０銭１円の内職作業からの脱却は難しい状況です。

■グループホームの開設

2017（平成 29）年に住まいを必要とする人のためにグループホームを開設しました。定員７名、ワンルームのアパートなので、地域生活の自立を目標にしています。

健康を保つために、昼食・夕食を提供しており、60 代 50 代の入居者もいますが、内科疾患での服薬者は今のところいません。食事内容のバランスは良好です。

グループホームは自宅であり、家族のような役割がありますが、過度に介入することなく、自立した大人としての生活を保証しています。

■課題

１．利用者の収入が低い

就職できない利用者のために、作業収入を増やし、仕事として取り組める事業を起こしたいと考えているが、具体的な案が出てこない。平均作業収入が１人１万円を下回ると加算の補助金が減額される。今年は減額の可能性が高い。

２．利用者の仕事が内職以外にない。単価が低く収入が増やせない。

３．カフェスペースを３年間業者に貸し出すが、３年後には NPO としての事業が行えないかと考えている。地域に必要とされる事業を検討したいが、地域や役場との関係が構築されていない。

ご意見をいただき課題解決に努めていきたいと思います。貴重な機会をいただきありがとうございました。

①

特定非営利活動法人
群馬リカバリーねっと
現状と課題

群馬リカバリーねっと
代表　勅使川原　洋子

②

1975(昭和50)年代～　悲劇の病気

- 精神疾患は、遺伝する・・・・
- 隠れて暮らす、当事者と家族
- 毎日閉じこもりの生活
- 病院以外に行ける場所・・・作業所を
- 保健所保健師の役割・・・・精神保健法

③

こんな理不尽なこと

- 病気になっただけで・・・
- 精神科救急システム

④

設立と変遷

2013（平成**25**）年

- 平成４年に精神障害者家族会を立ち上げ、通所のための作業をつくり、家族会をＮＰＯ法人として、地域に定着した保健活動を提供した。この時一緒に活動したワーカーから、通所施設をつくりたいと希望している障害者の家族がいるので相談に乗ってはどうかという話があったのが設立のきっかけとなった。

2014（平成**26**）年**4**月～

- 家族からの建物の提供
  群馬県佐波郡玉村町にて、通所施設を開所する。
  古く使われていない、一戸建てで始めた。

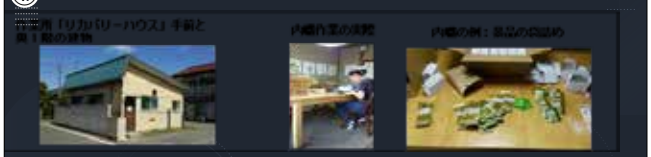
⑤ 就労継続支援Ｂ型

根拠法令：障害者総合支援法
認可日：2014（平成26）年9月1日
対象者：精神障害者・発達障害者の方が中心
目　的：日常生活リズムを整え、充実した日常生活の獲得
　　コミュニケーションなどを通して人との交流、就労
定　員：20名
開所日：月～金　土（不規則）
時　間：９：００～１５：００
　※　送迎・納品　8：30～9：00、15：00～16：00
利用料：法に定める利用料　※収入のない場合は無料
工　賃：毎月末〆　翌月15日支給

⑥ 利用者の一日の流れ

8時30分～9時	迎え（希望者）
9時～10時30分	作業訓練
10時30分～40分	休憩（10分）
10時40分～12時	作業訓練
12時～13時	昼食
13時～15時	作業訓練・その他
15時～	送り（希望者）

⑦



スタートした当時の通所施設

・作業風景
・作業（袋詰め等

⑧ 職員

- スタート時点の職員は方針等の話し合いの結果退職
- 群馬県立精神医療センターで勤務したベテランの看護師を施設長として迎える。その後職員が3名となる。
- 現在、全職員8名
  60代3名、50代2名、40代2名、30代1名
  看護師、精神保健福祉士、社会福祉士
  資格なし2名（調理担当1名）

⑨ 建物を新築

2018（平成３０）年

- 建物の老朽化と通所者の増加で、戸建てアパート3か所に移転したが、アパートも古く快適な環境を提供することできないことから、新築することとなった。
- 全額信用金庫から借り入れをした。
- 利用者が、ただの通所施設だけでなく、カフェを併設し、楽しめる施設にしたいという理事会意見から、カフェスペースのある、おしゃれな建物となった。

⑩

新しい施設（定員20名）

※　カフェ
※　高齢者のためにお弁当

⑪

北に広がる
山なみ
赤城山

⑫

⑬

カフェスペースのための、イングリッシュガーデン風
北の庭と南の庭（建設当時）

⑭

作業中

⑮

勉強会
ＳＳＴ

⑯

窓からの景色に広がるカワズザクラが満開になったのでお花見の散歩

⑰

ハローワークの障害者枠の就職説明会

⑱

⑲ グループホームの開所

2017（平成２９）年12月～

- グループホームとしてアパート（ワンルーム）の新築
  7部屋を利用者、1部屋を共有スペース
- エアコン完備、バス・と入れ別　ＩＨキッチン、収納
  ベット　※冷蔵庫、洗濯機スペース有り
- 家賃は、補助金10,000円があるので
  自己負担25,000円／月、共益費10,000円
  水道・光熱費は実費
- 食事の提供、昼・夕食　各500円程度（20,000円／月）
- 週2回、買い物支援（朝食、土日の食品等を買う）

⑳

グループホームの共有スペース

㉑ 課題

1．利用者の収入が低い
　20,000～6,000円／月
　前年度　平均10,000円以上だったので、加算が付いた。
　今年度は厳しい。
2．利用者の仕事がない
3．カフェスペースを自分たちで活用できなかった。
　レンタルカフェとして、会社と契約する。

〈プロフィール〉

■家族

夫（中小企業診断士）、長男（既婚、大工）、長女（同居、事務職員）

■県立福祉大学校卒（現：群馬県立県民健康科学大学）

通信制大学卒業、法政大学大学院修士課程修了 2018 年

■群馬県保健師　38 年勤務

担当業務の１／２は、精神保健業務
精神疾患を持つ本人・家族の地域生活の支援
福祉的専門性を持つため、精神保健福祉士取得
平成 15 年、群馬県精神科救急情報センターの立ち上げに関わる（５年３か月）

■平成 26 年４月～

NPO 法人群馬リカバリーねっと設立　理事長
通所施設「リカバリ―ハウス」開始

精神疾患患者が障害者の中に入り、他の知的障害者、身体障害者と同様に扱われ、精神疾患についてあまり理解していない人達が、他の障害と同じように施設で対応していることに違和感をもちました。医療職がスタッフとして支援する精神障害者専門の施設をつくりたいと考えたスタートしました。

・平成 30 年～

医療福祉大学、非常勤講師（１年）、専任（４年）准教授
保健師教育に従事　令和５年３月退職

≪今月のお祝い≫

《９月結婚記念日》

小原　　淳　　会員

《９月入会記念日》
佐藤　一明　　2019・９・14
水谷　　透　　2001・９・29　　各会員

《９月誕生記念日》
宝積　尚熙
宮川　洋一
宮田　彰久
永島　克政　　各会員

≪スマイルレポート≫

鳥山直樹会長・川﨑智晴副会長・小野哲幹事：ゆかたミーティングご参加の皆様、お疲れ様でした。久し振りの宿泊イベントで、夜遅くまで懇親を深めることができました。企画・運営していただいた親睦活動委員会の皆様、ありがとうございました。特定非営利活動法人群馬リカバリーねっと理事長　勅使川原 洋子様、本日の卓話よろしくお願い申し上げます。「こころの病気」についての理解を深めたいと思います。株式会社プロット代表取締役 藤井邦一様、株式会社ひのきリライアンス代表取締役社長兼最高経営責任者 北井一也様、ようこそお越しくださいました。例会をお楽しみください。

石田健二会員：①例会欠席のお詫びとして。②入会祝い。③誕生祝い。

平野忠弘会員：ゆかたミーティングでは楽しませて頂きました。来年も宜しくお願いします。

小原淳会員：先週のゆかたミーティング、関係委員会の皆さんありがとうございました。今回、河鹿荘に忘れ物をしまして、青木会長、水谷会員（50音順）には重ねてお世話になりました。青木会長には運搬係まで担当して頂き、恐縮の限りです。ありがとうございました。

川﨑智晴会員：青木会長ご紹介の北井様、萩生田会員ご紹介の藤井様、例会をお楽しみください。

萩生田義久会員：入会候補者藤井様、よろしくお願い致します。北井様、ご検討の程よろしくお願い致します。

新堀史明会員：８月は１日も例会に出席できずすみませんでした！

青木理会員：北井様、例会出席ありがとうございます。楽しんで頂けますと幸いです。

青柳隆之会員：藤井さん、北井さんようこそいらっしゃいました。またゆかたミーティング、行きは青木さん、帰りは佐藤さん、車同乗させていただきありがとうございました。

福本学会員：ゆかたミーティングにご参加いただいた皆様ありがとうございました！とっても楽しかったです。

宍戸留美会員：藤井様、北井様ようこそいらっしゃいました。どうぞごゆっくりお過ごし下さい。

髙橋常男会員：今年の夏は、猛暑日の数も過去最多との中間報告がありましたが、誰しもこれまでにない、暑い･暑い夏を体験しました。私ことで恐縮ですが、ロータリークラブ入会以来、余暇はメダカ・金魚の飼育に愛を注いでおりますが、水槽温度を適温に保つために、氷塊を注いだり、保冷剤を入れるなどクーリング対策を行いましたが、結局、体温調整がうまくできなかった、金魚３匹、メダカ２匹を失いました。産卵をみることはできませんでした。残念です。本日は、群馬リカバリーねっと理事長、勅使川原様の卓話を楽しみにまいりました。宜しくお願い致します。

島太郎会員：卓話者の勅使川原様、本日は群馬よりお越し頂きありがとうございます。台風も去って良かったです。本日は宜しくお願い致します。

井原裕一会員：本日は群馬リカバリーねっと勅使川原理事長、卓話宜しくお願いします。ゆかたミーティング、お世話になりました。楽しかったです。

澤田美穂子会員：９／３～４、入会して初めて、ゆかたミーティングに参加してきました。温泉で、身体はポカポカになり、お肌もツルツルになりました。宴会、カラオケ、〆のラーメン、翌日の観光もとても楽しかったです。皆様ありがとうございました！！

岩﨑吉明会員：このところ仕事ばっかりで済みません。

小原淳会員：結婚祝い。早いもので、50年になります。

水谷透会員：入会22年目になりました。会員の皆様ありがとうございました。

宮川洋一会員：誕生祝い。

小原淳会員：スマイルに協力して。

鈴木康昭会員：スマイルに協力して。

伊藤雄一郎会員：スマイルに協力して。

岸厚子会員：スマイルに協力して。

小野澤寿一会員：スマイルに協力して。

齋藤久夫会員：スマイルに協力して。

本日のスマイル　29件

（今月の会報担当　佐藤　一明　会員）

◎スマイルリクエスト
田島　文男　会員
「明日へ向かう人」

半崎美子氏の「明日に向かう人」です。半崎美子氏は最近、youtubeで知りました。北海道出身のシンガーソングライターです。「明日に向かう人」を聞いた時、「作詞」に感銘を受けてリクエストをしました。今までの人生の反省を踏まえ、これからの「人生の応援歌」として口ずさんでいきたいと思います。

第３回理事会　議事録

2023 年 9 月 9 日

議案及び決議事項

１．10 月例会プログラムの件
　10 月 21 日の卓話については、11 月 25 日に卓話が予定されている小野澤会員にお願いできないかを打診する。それ以外は、原案どおり承認。

２．秋季情報集会の件
　友好クラブについて等をテーマとして、できる限り少人数で、11 月第２週から第３週にかけて開催することとなった。

３．令和５年第 11 回みなっち杯えきでんの件（社会奉仕）
　参加賞（ジャポニカ学習帳）を協賛する。また、11 月７日に清水ヶ丘公園で開催されるえきでんへの参加を会員に呼びかける。

４．「リラのいえ」支援の件（社会奉仕）
　地区補助金を活用して、支援を行う。具体的な内容に関しては、先方との調整を新堀会員にお願いする。

５．2023 年秋田県豪雨災害被災地支援協力の件
　地区からの要請に基づき、預かり金から会員一人あたり　　円（合計　　円）を支出する。

６．9 月 30 日（土）米山奨学生 蔡宜真様　終了式の件
　例会の進行は、以下のとおりとする。
　点鐘・開会→ゲストの紹介→ビジターの紹介→出席報告→スマイルボックスの発表→会長報告→幹事報告→委員会報告→終了式（小野邊委員長による進行）→合唱→点鐘・閉会
　樋口ガバナー、吉田パストガバナー、小野邊委員長及び板橋委員長はクラブゲスト扱いとする。

７．新会員候補　石野貴史様の件
　会員選考委員会の意見を求めることとし、前回の退会理由及び再入会を希望する理由等を会員選考委員会の方で確認してもらう。

８．7 月会計確認
　承認した。

９．その他
　① 2023-24 年度地区大会記念「ポリオ根絶チャリティーゴルフ大会」の件
　　事務局から会員に案内を送る。

２０２３年１０月　例会プログラム予定表

週	日	テーマ	スピーカー	紹介者	合唱曲
1	7	特別休会			
2	14	徳川慶喜と兵庫開港問題 幕末政局の転換点	司法書士 松原　隆文　様	鈴木　康昭　会員	我等の生業
3	21	インボイス制度について	小野澤　寿一　会員		赤とんぼ
4	28	2027 横浜花博	横浜市都市整備局 上瀬谷整備・国際園芸博覧会推進室長 村上　実　様	萩生田　義久会員	夕やけ小やけ

地区大会プログラム

登録料：会員12,000円　ご家族無料

※プログラムの内容・時間は変更の可能性があります。

11月10日（金）

第１日目　本会議（会長・幹事会）
パシフィコ横浜会議センター 3F 301·302

13:00　登録開始

14:00　点鐘・式典

ＲＩ会長代理ご夫妻入場、紹介、

ガバナー挨拶、

国際ロータリーの現状報告、表彰 他

14:55　講演

17:10　点　鐘

ＲＩ会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
ヨコハマ グランド インターコンチネンタルホテル 3F

11月11日（土）

第２日目　本会議
パシフィコ横浜会議センター 1F メインホール

11:30　登録開始

12:30　点鐘・式典

紹介、ガバナー挨拶・地区現状報告、

ＲＩ会長メッセージ、各種委員会報告

～大会決議案協議～大会決議

寄付金贈呈、表彰（長寿）　他

青少年関連プログラム紹介

15:40　記念講演

17:20　新会員紹介　他

18:00　点　鐘

会員懇親会
パシフィコ横浜会議センター 3F 301·302

地区大会記念行事・他

ポリオ根絶 チャリティーゴルフ大会
日時／10月24日(火)
会場／磯子カンツリークラブ

午餐会
日時／11月11日(土)
11:00−12:00
会場／パシフィコ横浜会議センター
3F 301·302

ロータリー財団奨学生帰国報告会
日時／11月11日(土)
10:00−11:30
会場／パシフィコ横浜会議センター

ロータリアンによる 芸術祭
日時／11月11日(土)
11:30−本会議終了迄
会場／パシフィコ横浜会議センター
1Fホワイエ／コンコース

講　演（11月10日14:55～）

「関東大震災とロータリー」

講師

RID2590 パストガバナー
上野　孝氏
（横浜ＲＣ）

ロータリー歴：
1986　横浜ロータリークラブ入会
1997-98 横浜ロータリークラブ　会長
2001-02 ＲＩ第 2590 地区ガバナー
2003-04 ＲＩ研修リーダー
2008-09 ロータリーの友委員会 委員長（～2010）

「ガイ・ガンディガーから学ぶロータリー」

講師

RID2800 パストガバナー
鈴木一作氏
（寒河江ＲＣ）

ロータリー歴：
1994　寒河江ロータリークラブ入会
2009-10 寒河江ロータリークラブ会長
2017-18 ＲＩ第2800地区ガバナー
2020　ＲＩ研修リーダー
2022-24 ロータリーの友委員会副委員長・ロータリーの友事務所理事

記念講演（11月11日15:40～）

「持続可能な社会で必要とされる個人と企業」

講師

エミネントグループ
株式会社
代表取締役社長 CEO
小野塚惠美氏

【経歴】東京理科大学大学院経営学研究科 技術経営専攻(MOT) 修了。
JPモルガン、ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント、カタリスト投資顧問取締役副社長 COOを経て現職。現在はサステナブルファイナンスと事業の価値創造に関するアドバイザリー、研究、執筆、講演など幅広く活動。

会場 周辺ＭＡＰ（会場案内）

会場までの交通アクセス

パシフィコ横浜会議センター

○みなとみらい駅より徒歩3分
○桜木町駅より「動く歩道」で徒歩12分、タクシーで約5分、
　バスで約7分(市営バス乗り場③のりばからパシフィコ横浜行(156·292系))
○横浜駅よりタクシー約7分、シーバス(船) 約10分

ホストクラブ

神奈川ロータリークラブ

コ・ホストクラブ

横浜東ロータリークラブ　横浜北ロータリークラブ
横浜港北ロータリークラブ　横浜都筑ロータリークラブ
横浜鶴見北ロータリークラブ　横浜日吉ロータリークラブ